

令和6年(2024年)版

# 杉並区の交通事故概要

(令和6年1月～12月)

杉 並 区

杉並区交通安全協議会

## 交通安全杉並区宣言

近時、車両運行の急激な増加にともない、区内における交通事情は悪化の一途をたどり、事故は日とともに激増の傾向にあることは、まことに憂慮に堪えないところである。

杉並区は人命を尊重し、区民の生命財産をまもり、区内における交通事故の絶滅を期するため、これが施策を推進することを決意し、ここに交通安全都市を宣言する。

昭和40年3月31日

## は じ め に

令和6年中の区内の交通事故発生状況につきましては、令和5年より13件増の1,034件で、そのうち、負傷者は23人増加して1,152人、死者は3人減って4人となっており、ここ数年は増加傾向が続いています。

また、自転車は、身近で手軽な移動手段として、子どもから高齢者まで生活の様々な場面で幅広く利用されている一方で、その手軽さから自転車利用者のルール違反に伴う交通事故が数多く発生しています。

このような状況を改善するためには、交通事故の特徴を把握し、効果的な交通安全施策を地道に継続していくことで交通事故を減少させ、区民の皆さんが、安心して、快適に暮らすことができるまちにしていかなければなりません。

本書は、令和6年中の交通事故発生状況をまとめたものであり、今後の交通安全施策並びに交通安全教育を推進していく上の資料として、広く活用していただき、交通事故防止の一助となれば幸いです。

なお、本書の作成にあたり、資料の提供等、多大なるご協力をいただきました、各関係機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和7年3月

都市整備部管理課 交通企画係

# 目 次

はじめに

目 次

用語解説

第一章 全国・東京都・杉並区における交通事故発生状況 .....	- 5 -
1 交通事故発生件数（表 1） .....	- 5 -
2 交通事故による死者数（表 3） .....	- 6 -
3 交通事故による負傷者数（表 4） .....	- 6 -
第二章 杉並区における交通事故発生状況 .....	- 7 -
1 死亡事故の発生状況 .....	- 7 -
I. 死亡事故の概要（表 5） .....	- 7 -
II. 当事者別死亡事故発生状況（表 6） .....	- 7 -
2 道路種別・道路形状別交通事故発生状況 .....	- 8 -
3 当事者別交通事故発生状況（表 9） .....	- 9 -
4 年齢別交通事故発生状況 .....	- 10 -
I. 年齢別交通事故発生状況（表 10） .....	- 10 -
II. 子どもの交通事故発生状況.....	- 11 -
III. 高齢者の交通事故発生状況（表 13） .....	- 12 -
IV. 若年層の交通事故発生状況.....	- 13 -
5 事故類型別交通事故発生状況 .....	- 14 -
I. 事故類型別交通事故発生状況（表 15） .....	- 14 -
II. 事故類型別交通事故発生状況の内訳（表 16） .....	- 15 -
6 昼夜別交通事故発生状況（表 18） .....	- 16 -
7 時間帯別交通事故発生状況（表 19） .....	- 16 -
8 車両側の違反による交通事故発生状況（表 20） .....	- 17 -
9 歩行者の違反による交通事故発生状況（表 21） .....	- 18 -
第三章 杉並区内各警察署管内における交通事故発生状況 .....	- 19 -
1 杉並警察署管内.....	- 19 -
I. 交通事故発生状況（表 22） .....	- 19 -
II. 路線別交通事故発生状況（表 23） .....	- 19 -

III.	当事者別交通事故発生状況（表 2 4） .....	- 19 -
IV.	年齢別交通事故発生状況（表 2 6） .....	- 20 -
2	高井戸警察署管内 .....	- 21 -
I.	交通事故発生状況（表 2 7） .....	- 21 -
II.	路線別交通事故発生状況（表 2 8） .....	- 21 -
III.	当事者別交通事故発生状況（表 2 9） .....	- 21 -
IV.	年齢別交通事故発生状況（表 3 1） .....	- 22 -
3	荻窪警察署管内 .....	- 23 -
I.	交通事故発生状況（表 3 2） .....	- 23 -
II.	路線別交通事故発生状況（表 3 3） .....	- 23 -
III.	当事者別交通事故発生状況（表 3 4） .....	- 23 -
IV.	年齢別交通事故発生状況（表 3 6） .....	- 24 -

## 用語解説

本書で使用している主な用語の意味は、以下のとおりです。

交通事故	……	道路交通法第2条第1項に規定されている道路において、車両、路面電車及び列車(軌道車)の交通によって起こされた、人の死亡又は負傷を伴った事故及び物的損害を伴った事故をいう。 但し、本書には人身事故のみを計上している。
人身事故	……	交通事故により人の死傷があったものをいう。
死亡(死者)	……	交通事故発生から24時間以内に死亡した場合(人)をいう。
重傷(重傷者)	……	交通事故により負傷し加療日数が30日以上の場合(人)をいう。
軽傷(軽傷者)	……	交通事故により負傷し加療日数が30日未満の場合(人)をいう。
負傷(負傷者)	……	重傷(重傷者)と軽傷(軽傷者)の合計をいう。
当事者	……	交通事故に関係した人をいうが、車両等が関係した事故の運転者については、運転中の車両等を当事者としている。
第1当事者	……	過失(違反)がより重いか又は過失(違反)が同程度の場合は、被害がより小さい方の当事者をいう。
第2当事者	……	過失(違反)がより軽いか又は過失(違反)が同程度の場合は、被害がより大きい方の当事者をいう。
子どもの事故	……	幼児、小学生、中学生が関与した交通事故をいう。
若年層の事故	……	中学校卒業後から25歳未満までの年齢層の人が関与した交通事故をいう。
高齢者の事故	……	年齢65歳以上の人が関与した交通事故をいう。
昼夜の交通事故	……	昼は日の出から日没までをいい、夜は日没から次の日の出までをいう。
事故類型	……	事故をまず当事者の種類(人または車両)によって類型化し、次いで、当事者の事故時の行動(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したものをいう。

- 1 本書は、警視庁集計の交通事故統計表及び警視庁総務部文書課提供の交通事故統計資料に基づき作成しました。
- 2 交通事故の認定状況により、集計時点での数値が異なる場合があります。
- 3 全国と東京都の数値には、高速道路の交通事故が含まれています。
- 4 各表欄外に「発生件数は第1当事者、第2当事者の合計数である。」とある表においては、交通事故一件における第1当事者及び第2当事者のそれぞれを計上した数値であり、交通事故発生件数とは異なります。
- 5 各警察署管内における交通事故発生状況の数値は、各警察署において取り扱った件数であり、図表中及び文中の数値と一致しない場合があります。
- 6 図表中及び文中の構成率、割合については、小数点第二位で四捨五入したため、図表中及び文中の数値と一致しない場合があります。

## 第一章 全国・東京都・杉並区における交通事故発生状況

### 1 交通事故発生件数（表1）

- ① 全国は290,895件で、前年より17,035件減少した。
- ② 東京都は30,103件で、前年より1,282件減少した。
- ③ 杉並区は1,034件で、前年より13件増加した。

表1 交通事故発生件数の推移

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全 国	309,178	305,196	300,839 <sup>※1</sup>	307,930 <sup>※2</sup>	290,895
東 京 都	25,642	27,598	30,170	31,385	30,103
杉 並 区	838	887	893	1,021	1,034

※1※2 令和4年及び令和5年の全国の発生件数は遡って修正された。

### 【参考】23区の交通事故発生状況（表2）

表2 23区の交通事故発生状況

	発生件数	増減数	死者数	増減数	負傷者数	増減数
千代田区	579	-39	3	+2	650	-49
中央区	697	-19	2	+1	782	-6
港区	1,115	-89	4	-1	1,229	-119
新宿区	1,111	+19	6	-1	1,206	+7
文京区	472	+3	3	+2	508	+4
台東区	710	+17	3	-2	782	+29
墨田区	585	-35	3	-1	637	-37
江東区	1,246	+16	4	-2	1,358	+14
品川区	924	-62	4	+2	981	-97
目黒区	609	-76	2	±0	653	-87
大田区	1,506	-77	13	+2	1,643	-76
世田谷区	1,808	+49	3	-6	1,991	+50
渋谷区	726	-134	5	+1	774	-164
中野区	622	-60	2	+1	657	-67
杉並区	1,034	+13	4	-3	1,152	+23
豊島区	527	-51	6	+5	555	-56
北区	532	-136	6	+6	574	-165
荒川区	353	+1	1	-1	377	-4
板橋区	1,088	+84	3	-3	1,167	+48
練馬区	1,007	-12	6	-2	1,111	-10
足立区	1,715	-176	4	-4	1,875	-192
葛飾区	743	-92	2	-1	806	-101
江戸川区	1,316	-37	4	-4	1,426	-93

## 2 交通事故による死者数（表3）

- ① 全国は2,663人で、前年より15人減少した。
- ② 東京都は146人で、前年より10人増加した。
- ③ 杉並区は4人で、前年より3人減少した。

表3 交通事故による死者数の推移

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全 国	2,839	2,636	2,610	2,678	2,663
東 京 都	155	133	132	136	146
杉 並 区	3	6	4	7	4

## 3 交通事故による負傷者数（表4）

- ① 全国は344,395人で、前年より21,200人減少した。
- ② 東京都は33,251人で、前年より1,619人減少した。
- ③ 杉並区は1,152人で、前年より23人増加した。

表4 交通事故による負傷者数の推移

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全 国	369,476	362,131	356,601 <sup>※1</sup>	365,595 <sup>※2</sup>	344,395
東 京 都	28,888	30,836	33,429	34,870	33,251
杉 並 区	950	1,000	1,018	1,129	1,152

※1 ※2 令和4年及び令和5年の全国の負傷者数は遡って修正された。

## 第二章 杉並区における交通事故発生状況

### 1 死亡事故の発生状況

#### I. 死亡事故の概要（表5）

- ① 死亡事故は4件で、前年より2件減少した。死者は4人で、前年より3人減少した。
- ② 路線別では国道0件、主要都道\*0件、一般都道1件、区道3件だった。
- ③ 昼夜別では昼3件、夜1件だった。

\*主要都道とは、環七通り、環八通り、早稲田通り、方南通り、青梅街道、新青梅街道、五日市街道、人見街道をいう。

表5 死亡事故の概要

	月日	時刻	発生場所	路線名	死亡者		相手方
					年齢	歩行者	
1	1 / 4	20:25	下高井戸五丁目	区道	70歳代	歩行者	自家用普通乗用車
2	4/13	14:15	西荻南三丁目	区道	70歳代	歩行者	自家用普通乗用車
3	4/25	05:08	松庵一丁目	井ノ頭通り	40歳代	自動二輪	事業用普通乗用車
4	11/20	16:30	今川一丁目	区道	70歳代	歩行者	自家用軽乗用車

#### II. 当事者別死亡事故発生状況（表6）

当事者別発生件数は、二輪車1件、歩行者3件だった。

表6 当事者別死亡事故発生状況

	乗用車	貨物車	特殊車	二輪車	自転車	歩行者
発生件数	0	0	0	1	0	3

## 2 道路種別・道路形状別交通事故発生状況

- ① 道路種別では区道の 456 件が最も多く、次いで主要都道の 404 件、一般都道の 95 件の順だった。（表 7）
- ② 道路形状別では単路の 539 件が最も多く、次いで交差点の 381 件、交差点付近の 99 件の順だった。（表 8）

表 7 道路種別交通事故発生状況

	国 道	主 要 都 道	一 般 都 道	区 道	自動車専用道	そ の 他
発生件数	60	404	95	456	0	19
増減数	+12	-22	-31	+54	±0	±0
死者数	0	0	1	3	0	0
重傷者数	2	24	12	25	0	0
軽傷者数	71	455	99	445	0	19

表 8 道路形状別交通事故発生状況

	交 差 点			交差点※ <sup>1</sup> 付 近	単 路			踏 切	その他※ <sup>2</sup>
	小 5.5m 未満	中 5.5m 以上	大 13.0m 以上		トンネル	橋	そ の 他		
発生件数	225	98	58	99	10	10	519	1	14
増減数	-8	-35	-5	+30	+4	+2	+25	-2	+2
死者数	0	1	0	2	0	0	1	0	0
重傷者数	21	8	9	7	0	0	18	0	0
軽傷者数	217	99	60	104	17	12	565	1	14

※<sup>1</sup> 発生件数は、第 1 当事者、第 2 当事者の合計数である。

※<sup>2</sup> 「その他」とは、一般交通の用に供するその他の道路（駐車場等）をいう。

### 3 当事者別交通事故発生状況（表9）

当事者別では自転車の577件が最も多く、次いで乗用車の559件、貨物車の311件の順だった。

表9 当事者別交通事故発生状況

	乗用車	貨物車	特殊車	二輪車	自転車	歩行者
発生件数※ <sup>1</sup>	559	311	1	204	577	157
増減数	-57	+25	±0	+11	-28	-7
死者数	0	0	0	1	0	3
重傷者数	8	0	0	22	19	13
軽傷者数	219	103	0	147	465	142

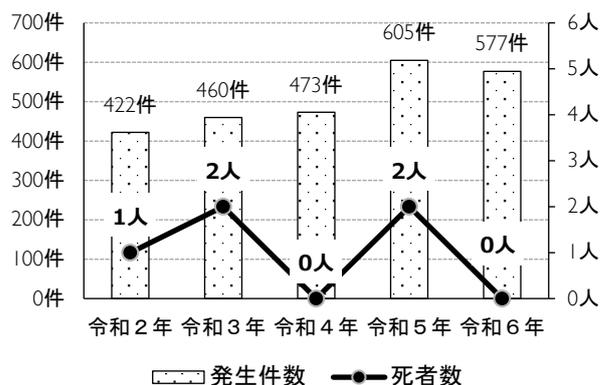
	その他※ <sup>2</sup>	物件等
発生件数	35	224
増減数	+16	+66
死者数	0	0
重傷者数	1	0
軽傷者数	13	0

※<sup>1</sup>発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

※<sup>2</sup>「その他」とは路面電車、列車、自転車以外の軽車両（リヤカー、荷車等）、道路上の歩行者以外の人、道路外、ひき逃げ等で当事者不明の人をいう。

#### 【参考】自転車の交通事故発生状況（図1）

図1 自転車の交通事故発生状況（過去5年間）



令和6年の自転車関与率：(自転車事故件数－自転車相互件数)÷発生件数＝49.1%

#### 4 年齢別交通事故発生状況

##### I. 年齢別交通事故発生状況（表10）

年齢別では50歳代の343件が最も多く、次いで40歳代の315件、20歳代の280件の順だった。

表10 年齢別交通事故発生状況

	幼児 <sup>※2</sup>	小学生	中学生	高校生	中卒~19歳	20歳代	30歳代
発生件数 <sup>※1</sup>	5	43	25	28	26	280	278
増減数	-3	+1	+7	+2	+5	+7	+1
死者数	0	0	0	0	0	0	0
重傷者数	1	1	0	1	4	12	4
軽傷者数	19	43	20	27	15	162	165

	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	その他 <sup>※3</sup>
発生件数	315	343	238	183	65	239
増減数	-28	-39	+22	±0	-12	+63
死者数	1	0	0	3	0	0
重傷者数	10	11	7	10	2	0
軽傷者数	189	178	128	87	56	0

※1 発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 「幼児」とは、児童福祉法に定められる、満一歳から小学校就学始期に達するまでをいう。

※3 「その他」とは、ひき逃げ等で不明な場合、及び物件等をいう。

## II. 子どもの交通事故発生状況

- ① 発生件数は73件で、前年より5件増加した。(表11)
- ② 当事者別では自転車が57件で、歩行者が16件だった。(表12)

表11 子どもの交通事故発生状況

	発生件数※	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和6年	73	0	2	82
増減数	+5	-1	-2	+10
令和5年	68	1	4	72

※発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

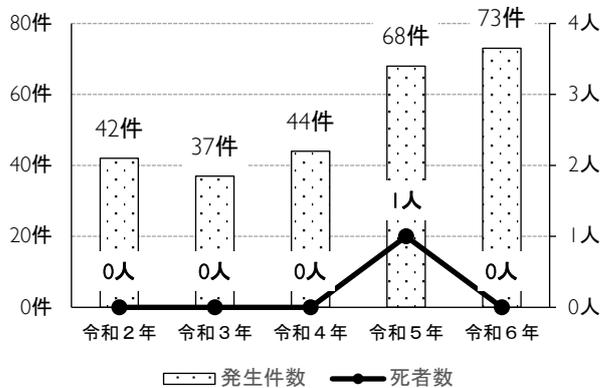
表12 子どもの当事者別発生状況

	自 転 車			歩 行 者			合 計
	幼 児	小学生	中学生	幼 児	小学生	中学生	
発生件数※	3	32	22	2	11	3	73
増減数	+1	±0	+5	-4	+1	+2	+5

※発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

### 【参考】子どもの交通事故発生状況（過去5年間）（図2）

図2 子どもの交通事故発生状況（過去5年間）



### III. 高齢者の交通事故発生状況（表 1 3）

- ① 発生件数は 342 件で、前年より 16 件減少した。
- ② 死者数は 3 人で、前年より 1 人増加した。
- ③ 重傷者数は 15 人で、前年より 1 人減少した。軽傷者数は 191 人で、前年より 2 人増加した。

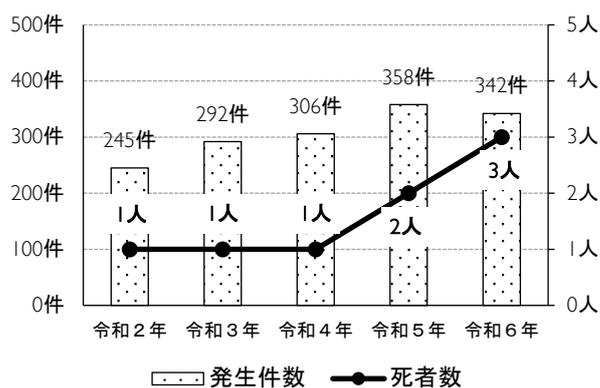
表 1 3 高齢者の交通事故発生状況

	発生件数※	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和 6 年	342	3	15	191
増減数	-16	+1	-1	+2
令和 5 年	358	2	16	189

※発生件数は、第 1 当事者、第 2 当事者の合計数である。

#### 【参考】高齢者の交通事故発生状況（過去 5 年間）（図 3）

図 3 高齢者の交通事故発生状況（過去 5 年間）



#### IV. 若年層の交通事故発生状況

- ① 発生件数は196件で、前年より35件増加した。
- ② 死者数は0人で、前年と同じだった。
- ③ 重傷者数は12人で、前年より9人増加した。軽傷者数は117人で、前年より16人増加した。

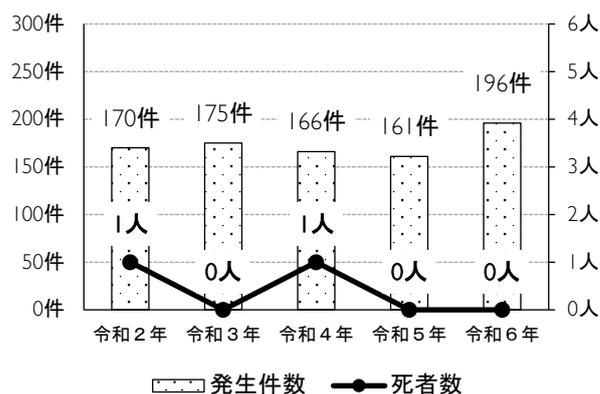
表14 若年層の交通事故発生状況

	発生件数※	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和6年	196	0	12	117
増減数	+35	±0	+9	+16
令和5年	161	0	3	101

※発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

#### 【参考】若年層の交通事故発生状況（過去5年間）（図4）

図4 若年層の交通事故発生状況（過去5年間）



## 5 事故類型別交通事故発生状況

### I. 事故類型別交通事故発生状況（表15）

- ① 発生件数は人対車両が157件、車両相互が653件、車両単独が224件だった。
- ② 死者数は人対車両が2人で、前年より2人減少した。車両相互は1人で、前年より1人減少した。車両単独は1人で、前年と同じだった。
- ③ 重傷者数は人対車両が13人で、前年より3人減少した。車両相互は48人で、前年より4人増加した。車両単独は2人で、前年より4人減少した。
- ④ 軽傷者数は人対車両が144人で、前年より6人減少した。車両相互は722人で、前年より39人減少した。車両単独は223人で、前年より71人増加した。

表15 事故類型別交通事故発生状況

	人 対 車 両				車 両 相 互			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和6年	157	2	13	144	653	1	48	722
増減数	-7	-2	-3	-6	-46	-1	+4	-39
令和5年	164	4	16	150	699	2	44	761

	車 両 単 独				列 車
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数
令和6年	224	1	2	223	0
増減数	+66	±0	-4	+71	±0
令和5年	158	1	6	152	0

## II. 事故類型別交通事故発生状況の内訳（表 1 6）

- ① 人対車両では横断中の 88 件が最も多く、次いで対面・背面通行中の 56 件、路上横臥の 1 件の順だった。
- ② 車両相互では出会い頭の 227 件が最も多く、次いで追突の 199 件、追越追抜時の 61 件の順だった。

表 1 6 事故類型別交通事故発生状況の内訳

	人 対 車 両				
	対面・背面 通行中	横 断 中		路上横臥	その他 <sup>※2</sup>
		横断歩道	その他 <sup>※1</sup>		
発生件数	56	33	55	1	12
増減数	-1	-6	+8	+1	-9
死者数	0	1	0	1	0
重症者数	2	3	8	0	0
軽傷者数	54	29	48	0	13

	車 両 相 互							
	正面衝突	追 突	出会い頭	追越追抜時	すれ違い	左折時	右折時	その他 <sup>※3</sup>
発生件数	12	199	227	61	19	27	44	64
増減数	+2	+1	-17	-8	±0	-4	-2	-18
死者数	1	0	0	0	0	0	0	0
重傷者数	1	7	19	6	4	0	10	1
軽傷者数	14	260	230	62	20	27	42	67

※1 人対車両－横断中の「その他」は横断歩道付近、横断歩道橋付近、それら以外の場所をいう。

※2 人対車両の「その他」は、一般の交通の用に供するその他の道路（駐車場等）の場合等をいう。

※3 車両相互の「その他」は、後退した際に自車後部を後車前部に衝突させた場合等をいう。

### 【参考】 杉並区の免許返納者数（表 1 7）

表 1 7 杉並区の免許返納者数

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
返納者数 <sup>※</sup>	2,530	2,380	1,813	1,361	1,343

※返納者数は、令和 2 年から令和 5 年までは杉並区在住者の件数である。令和 6 年は、杉並区内の警察署で申請された件数である。

## 6 昼夜別交通事故発生状況（表18）

- ① 発生件数は昼が747件で、前年より3件減少した。夜は287件で、前年より16件増加した。
- ② 死者数は昼が3人で前年より3人増加した。夜は1人で、前年より6人減少した。
- ③ 重傷者数は昼が41人で、前年より3人減少した。夜は22人で、前年と同じだった。
- ④ 軽傷者数は昼が779人で、前年より24人減少した。夜は310人で、前年より50人増加した。

表18 昼夜別交通事故発生状況

	昼				夜			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和6年	747	3	41	779	287	1	22	310
増減数	-3	+3	-3	-24	+16	-6	±0	+50
令和5年	750	0	44	803	271	7	22	260

## 7 時間帯別交通事故発生状況（表19）

発生件数は8時～10時の169件が最も多く、次いで12時～14時の143件、10時～12時の130件の順だった。

表19 時間帯別交通事故発生状況

時間帯	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時
発生件数	26	18	20	88	169	130
増減数	+8	+1	±0	-1	+30	-15
死者数	0	0	1	0	0	0
重傷者数	2	0	1	8	14	7
軽傷者数	25	21	22	94	174	140
時間帯	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～翌0時
発生件数	143	110	124	105	62	39
増減数	+14	-19	-24	+22	-12	+9
死者数	0	1	1	0	1	0
重傷者数	6	5	2	10	7	1
軽傷者数	144	111	136	109	62	51

8 車両側の違反による交通事故発生状況（表20）

① 発生件数は681件で、前年より18件減少した。

違反別では安全不確認の209件が最も多く、次いで前方不注意の130件、交差点安全進行の102件の順だった。

表20 車両側の違反による交通事故発生状況

		信号無視	最高速度	左折違反	右折違反	優先通行	交差点 安全進行	歩行者妨害	徐行違反
※2	発生件数※1	19	2	1	0	5	102	11	2
	増減数	+6	+2	+1	±0	+1	-41	-4	+1
	死者数	0	0	0	0	0	0	1	0
	重傷者数	2	1	0	0	5	12	2	0
	軽傷者数	24	2	1	0	0	96	8	2
		一時不停止	酒酔い	運転操作 誤り	前方不注意	安全不確認	その他※3	合計	
発生件数		16	0	48	130	209	136	681	
増減数		+4	-1	-4	+2	+11	+4	-18	
死者数		0	0	1	0	0	1	3	
重傷者数		4	0	0	6	6	8	46	
軽傷者数		13	0	58	161	221	153	739	

※1 発生件数は、原付以上の車両による事故で、第1当事者の件数である。

※2 死者数、重症者数、軽傷者数は、第1当事者の違反別事故全体の人数である。

※3 「その他」とは、ひき逃げ等で不明な場合、及び物件等をいう。

9 歩行者の違反による交通事故発生状況（表 2 1）

- ① 発生件数は 23 件で、前年より 6 件増加した。
- ② 違反別では横断歩道外横断の 7 件が最も多く、次いで、信号無視とその他の横断違反の 5 件の順だった。
- ③ 歩行者に違反がない事故は 134 件で、歩行者関与事故の 85.4%を占めている。

表 2 1 歩行者の違反による交通事故発生状況

	信号無視	横断歩道外横断	横断禁止場所横断	その他横断違反	めいてい徘徊	飛び出し	その他違反	合計	違反なし
発生件数※	5	7	1	5	1	4	0	23	134
増減数	+3	+5	-2	+1	±0	+3	-4	+6	-13
死者数	0	0	0	0	1	0	0	1	2
重傷者数	0	2	1	2	0	0	0	5	8
軽傷者数	5	5	0	3	0	4	0	17	125

※発生件数は、第 1 当事者、第 2 当事者の合計数である。

### 第三章 杉並区内各警察署管内における交通事故発生状況

#### 1 杉並警察署管内

##### I. 交通事故発生状況（表 2 2）

- ① 発生件数は 392 件で、前年より 14 件増加した。
- ② 死者数は 0 人で、前年より 1 人減少した。
- ② 重傷者数は 14 人で、前年より 6 人増加した。軽傷者数は 410 人で、前年より 2 人減少した。

表 2 2 杉並警察署内交通事故発生状況

		発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和 6 年		392	0	14	410
	増減数	+14	-1	+6	-2
令和 5 年		378	1	8	412

##### II. 路線別交通事故発生状況（表 2 3）

- ① 都道の発生件数は青梅街道の 74 件が最も多く、次いで環七通りの 70 件、中杉通りの 20 件の順だった。
- ② 区道の発生件数は 196 件で、前年より 36 件増加した。

表 2 3 路線別交通事故発生状況

		青梅街道	環七通り	中杉通り	五日市街道	その他の都道	区道
発生件数		74	70	20	19	13	196
	増減数	-10	+6	-9	-3	-6	+36

##### III. 当事者別交通事故発生状況（表 2 4）

発生件数は自転車の 258 件が最も多く、次いで乗用車の 184 件、貨物車の 96 件の順だった。

表 2 4 当事者別交通事故発生状況

		乗用車	貨物車	特殊車	二輪車	自転車	歩行者	その他	物件等
発生件数※		184	96	0	81	258	64	13	88
	増減数	-4	-13	±0	+4	-2	-4	+9	+38

※発生件数は、第 1 当事者、第 2 当事者の合計数である。

【参考】自転車関与事故の状況（表25）

表25 自転車の相手当事者別事故件数

	乗用車	貨物車	二輪車	自転車※2	歩行者	その他 (相手不明、単独等)
発生件数※1	9	3	2	38	19	65

※1 発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 自転車相互事故は1事故2件としてカウントしている。

自転車関与率：(自転車事故件数－自転車相互件数)÷発生件数＝56.1%

IV. 年齢別交通事故発生状況（表26）

年齢別では40歳代の120件が最も多く、次いで50歳代の118件、30歳代の111件の順だった。

表26 年齢別交通事故発生状況

	幼児※2	小学生	中学生	高校生	中卒～19歳	20歳代	30歳代
発生件数※1	1	16	14	10	9	107	111
増減数	-3	±0	+8	-1	+3	+2	+10

	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	その他※3
発生件数	120	118	82	74	30	92
増減数	-10	-24	+7	+2	-4	+38

※1 発生件数は第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 「幼児」とは、児童福祉法に定められる、満一歳から小学校就学始期に達するまでをいう。

※3 「その他」とは、ひき逃げ等で不明な場合、及び物件等をいう。

## 2 高井戸警察署管内

### I. 交通事故発生状況（表 2 7）

- ① 事故件数は 355 件で、前年より 23 件減少した。
- ② 死者数は 2 人で、前年より 2 人減少した。
- ③ 重傷者数は 26 人で、前年より 21 人減少した。軽傷者数は 382 人で、前年より 7 人増加した。

表 2 7 交通事故発生状況

	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和 6 年	355	2	25	328
増減数	-23	-2	-22	-47
令和 5 年	378	4	47	375

### II. 路線別交通事故発生状況（表 2 8）

- ① 都道の発生件数は甲州街道の 57 件が最も多く、次いで環八通りの 48 件、井ノ頭通りの 40 件の順だった。
- ② 区道の発生件数は 174 件で、前年より 36 件増加した。

表 2 8 路線別交通事故発生状況

	甲州街道	井ノ頭通り	環八通り	環七通り	その他の都道	区道
発生件数	57	40	48	32	4	174
増減数	+10	-27	-6	+11	-47	+36

### III. 当事者別交通事故発生状況（表 2 9）

当事者別では乗用車の 205 件が最も多く、次いで自転車の 169 件、貨物車の 122 件の順だった。

表 2 9 当事者別交通事故発生状況

	乗用車	貨物車	特殊車	二輪車	自転車	歩行者	その他	物件等
発生件数※	205	122	1	67	169	43	15	88
増減数	-37	+43	+1	-16	-41	-8	+4	+8

※発生件数は、第 1 当事者、第 2 当事者の合計数である。

【参考】自転車関与事故の状況（表30）

表30 自転車の相手当事者別事故件数

	乗用車	貨物車	二輪車	自転車※2	歩行者	その他 (相手不明、単独等)
発生件数※1	4	1	0	16	10	70

※1 発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 自転車相互事故は1事故2件としてカウントしている。

自転車関与率：(自転車事故件数－自転車相互件数)÷発生件数= 43.1%

IV. 年齢別交通事故発生状況（表31）

年齢別では40歳代の106件が最も多く、次いで50歳代の105件、20歳代の101件の順だった。

表31 年齢別交通事故発生状況

	幼児※2	小学生	中学生	高校生	中卒～19歳	20歳代	30歳代
発生件数※1	1	15	7	11	11	101	94
増減数	-2	+4	±0	+2	+2	+7	-14

	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	その他※3
発生件数	106	105	86	62	17	94
増減数	-12	-32	+15	-7	-13	+4

※1 発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 「幼児」とは、児童福祉法に定められる、満一歳から小学校就学始期に達するまでをいう。

※3 「その他」とは、ひき逃げ等で不明な場合や物件等をいう。

### 3 荻窪警察署管内

#### I. 交通事故発生状況（表 3 2）

- ① 発生件数は 283 件で、前年より 26 件増加した。
- ② 死者数は 2 人で、前年と同じだった。
- ③ 重傷者数は 23 人で、前年より 11 人増加した。軽傷者数は 293 人で、前年より 26 人増加した。

表 3 2 交通事故発生状況

		発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
令和 6 年		283	2	23	293
	増減数	+26	±0	+11	+26
令和 5 年		257	2	12	267

#### II. 路線別交通事故発生状況（表 3 3）

- ① 都道の発生件数は環八通りの 54 件が最も多く、次いで青梅街道の 42 件、早稲田通りの 15 件の順だった。
- ② 区道の発生件数は 152 件で、前年より 21 件増加した。

表 3 3 路線別交通事故発生状況

		青梅街道	環八通り	早稲田通り	新青梅街道	その他の都道	区道
発生件数		42	54	15	9	11	152
	増減数	+1	+7	+1	-5	+1	+21

#### III. 当事者別交通事故発生状況（表 3 4）

当事者別では乗用車の 169 件が最も多く、次いで自転車の 151 件、貨物車の 90 件の順だった。

表 3 4 当事者別交通事故発生状況

		乗用車	貨物車	特殊車	二輪車	自転車	歩行者	その他	物件等
発生件数*		169	90	0	53	151	47	7	49
	増減数	-11	-8	-1	+20	+22	+5	+3	+22

\*発生件数は、第 1 当事者、第 2 当事者の合計数である。

【参考】自転車関与事故の状況（表35）

表35 自転車の相手当事者別事故件数

	乗用車	貨物車	二輪車	自転車 <sup>※2</sup>	歩行者	その他 (相手不明、単独等)
発生件数 <sup>※1</sup>	4	4	2	15	12	40

※1 発生件数は第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 自転車相互事故は1事故2件としてカウントしている。

自転車関与率：(自転車事故件数－自転車相互件数)÷発生件数＝48.1%

IV. 年齢別交通事故発生状況（表36）

年齢別では50歳代の116件が最も多く、次いで40歳代の88件、20歳代の71件の順だった。

表36 年齢別交通事故発生状況

	幼児 <sup>※2</sup>	小学生	中学生	高校生	中卒～19歳	20歳代	30歳代
発生件数 <sup>※1</sup>	3	12	4	8	5	71	70
増減数	+2	-3	-2	+2	-1	+1	+5

	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	その他 <sup>※3</sup>
発生件数	88	116	68	50	17	54
増減数	-4	+16	+1	+8	+4	+23

※1 発生件数は、第1当事者、第2当事者の合計数である。

※2 「幼児」とは、児童福祉法に定められる、満一歳から小学校就学始期に達するまでをいう。

※3 「その他」は、ひき逃げ等で不明な場合や物件等をいう。



杉並区の交通事故概要  
(令和6年1月～12月)

登録印刷物番号

令和7年4月発行

06-0121

発行 杉並区都市整備部管理課交通企画係  
杉並区交通安全協議会

編集 杉並区都市整備部管理課交通企画係  
(杉並区交通安全協議会事務局)  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 03-5307-0793